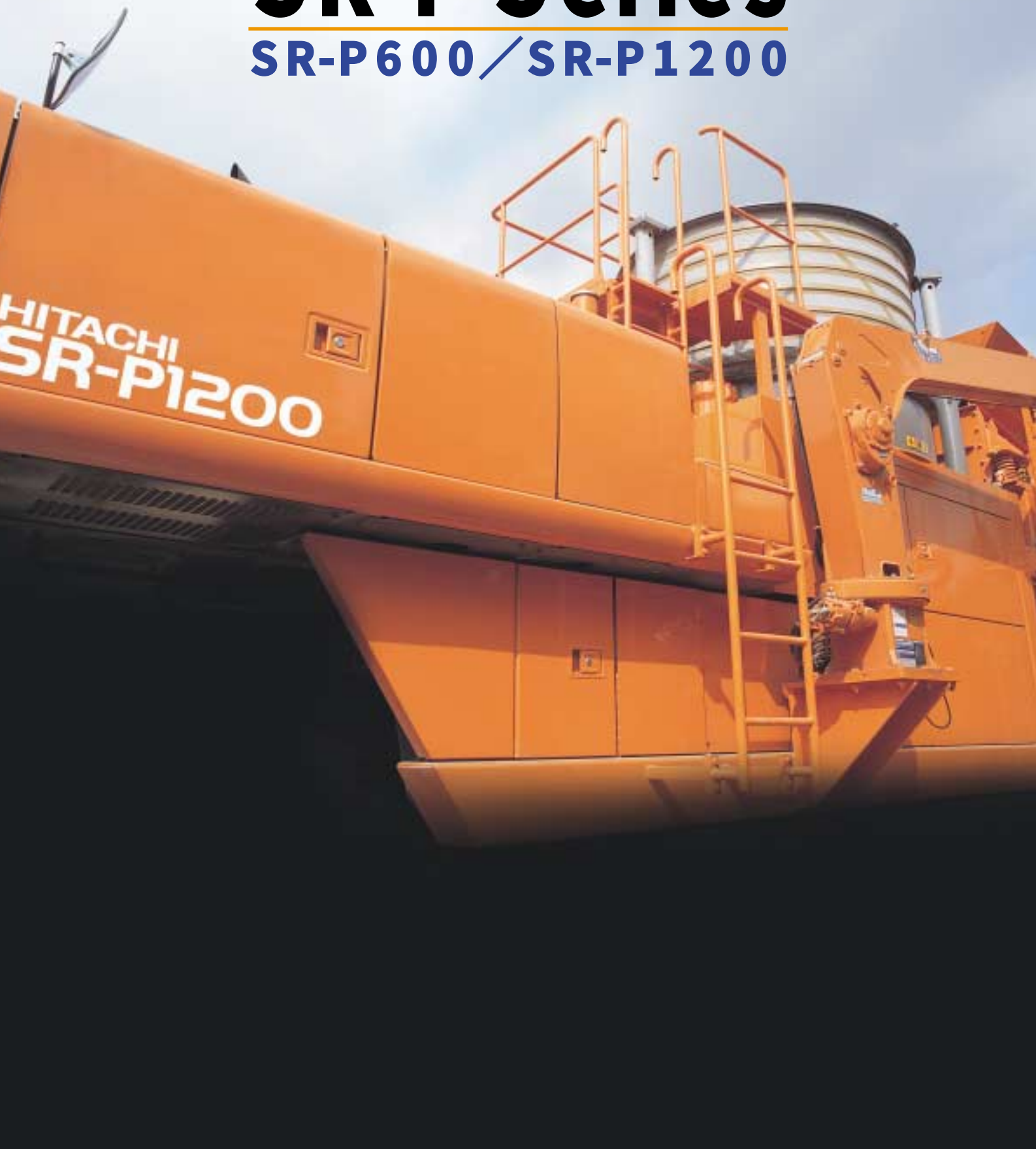
HITACHI

RECYCLE TECHNOLOGY EARTH

自走式土質改良機

SR-P Series

SR-P600／SR-P1200



土をリサイクル

土も大切な資源です。
限りある資源を有効活用するために、
SR-Pシリーズは、建設発生土をリサイクルします。

※稼働写真は、お客様が改造された部分が含まれており、
販売仕様と一部異なっております。

コンパクトボディに高性能を凝縮

SR-P600

SR-P1200で培った土質改良技術を踏襲。
さらに施工性や利便性・輸送性を追求しました。

最大処理量：60t/h
＜注＞処理量は、土の性状や作業の条件により異なります。

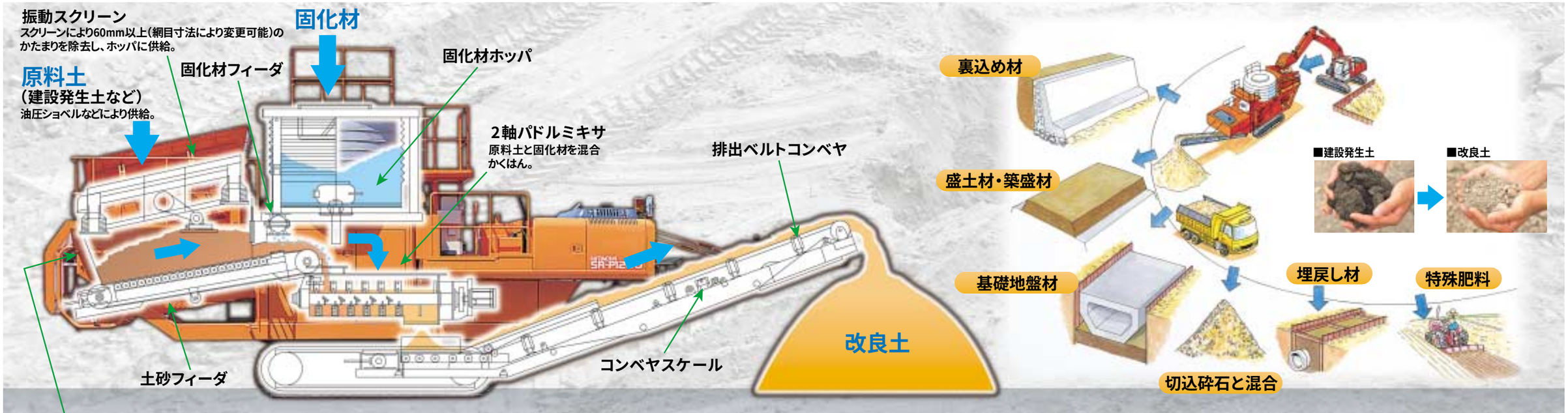
定置式プラント並みの処理量と品質を両立

SR-P1200

混合性能に優れた「2軸パドルミキサ」を採用。
低コストで高品質な土質改良を実現しました。

最大処理量：120t/h
＜注＞処理量は、土の性状や作業の条件により異なります。

低コストで、高品質なリサイクルを実現



作業性

■高い混合効率で広範囲の土質に対応

振動スクリーン(60mm×120mm)を標準装備。混合効率の高い2軸パドルミキサを採用し、高粘性土から砂質土まで、さまざまな原料土に対して効率良く高品質な土質に改良します。

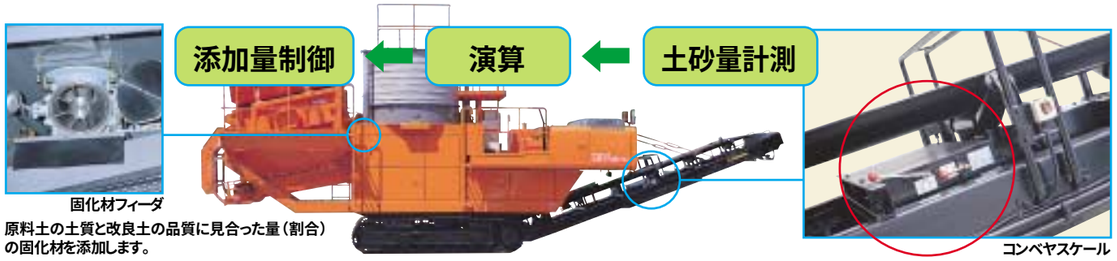
振動スクリーン

2軸パドルミキサ

■高精度の固化材供給システムで固化材コストを低減

コンベヤスケールにより改良土の質量を直接計測し、
比例制御方式により設定添加率の固化材を供給します。

高精度固化材供給システム(特許出願中)



固化材フィーダ
原料土の土質と改良土の品質に見合った量(割合)の固化材を添加します。

コンベヤスケール

■クレーンを標準装備

固化材ホッパ伸縮作業や固化材の投入作業は、標準装備のクレーンで行うことができます。

最大つり上げ能力(最縮/最伸)
2.6t×1.6m /1.2t×3.0m

機動性・輸送性

■現場内、現場間の移動が容易

自走式クローラで、現場内を機敏に移動。トラック・トレーラへの丸積輸送を可能にする、伸縮式固化材ホッパを採用。

※写真は、固化材ホッパを縮め、振動スクリーンのあおりを倒し、固化材ホッパ部の手すり(SR-P1200のみ)を外した状態です。

操作性・安全性

■ワンマンコントロールが可能

スイッチひとつで連動運転が可能。
万一の異常発生時には回転灯・警報で知らせ、異常状態を操作盤に表示します。

操作盤

■非常停止ボタン ■回転灯

●土砂フィーダの起動・停止は無線リモコン操作でできます。

無線リモコン

土質・作業条件に合わせたオプションを用意

アーチブレーカ

■アーチブレーカ
土砂ホッパ内の架橋を防止します。

■ブレード型スクリーン
高粘性土を切る構造により、スクリーン通過効率を向上させます。

さまざまな現場で稼働

SR-P1200

■砕石山の表土を改良

SR-P600

■建設発生土を改良

■SR-Pシリーズの優れた混合性能と高精度固化材供給システムは、
改良土製造以外の工法にも適用可能です。

SR-P特殊仕様機：SR-P1200をベースに混合機容量を拡大させた仕様。
処理能力は向上しますが、適応土質が限られます。

セメント安定処理路盤材の製造

既存のソイルプラントの3分の1程度の敷地で施工が可能。
工期短縮・コスト削減に大きく貢献。

SR-P1200

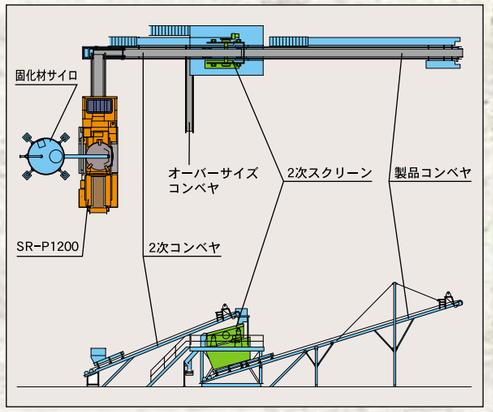
管理型産業廃棄物最終処分場における遮水材（ベントナイト混合土）の製造

厳しい添加率管理が要求される工事において、高精度固化材供給システムによる品質管理で対応。

土質改良システムへの対応

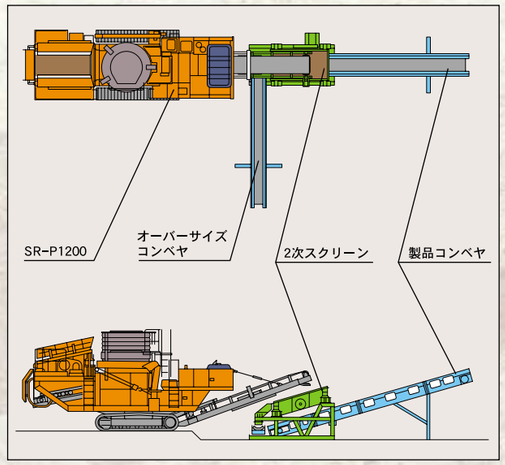
■ニーズに合わせた改良土を製造するために、土質改良システムを提案しています。

SR-P1200土質改良システム（例1）



SR-P1200

SR-P1200土質改良システム（例2）
※SR-P600にも対応可能



SR-P1200

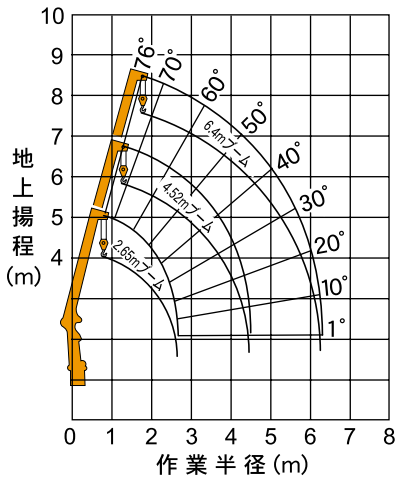
SR-P Series

■仕様

型式			SR-P600	SR-P1200
運転質量		t	11.8	21.0
寸法	全長	mm	9,130	12,570
	全幅	mm	2,490	2,990
	全高(輸送時)	mm	3,830(2,720)	5,180(3,500)
エンジン	型式		いすゞA-4BGIT	いすゞA-6BGIT
	総排気量	L	4.329	6.494
	定格出力	kW/min^{-1}(PS/rpm)	63/2,100(85/2,100)	99/1,950(135/1,950)
混合機	処理量*1	t/h(m^3/h)	最大60(40)	最大120(80)
	混合方式		2軸パドルミキサ	
	土砂ホッパ容量	m^3	0.9	1.8
	最大許容塊	mm	60(振動スクリーン選別)	
	固化材ホッパ容量	m^3	2.5(伸縮方式)	3.0(伸縮方式)
走行部	シュー形式		トリプルグローサ	
	シュー幅	mm	450	500
	接地圧	kPa(kgf/cm^2)	51.2(0.52)	66.0(0.67)
	走行速度	km/h	3.0	3.5
油類容量	燃料タンク	L	250	310
	作動油タンク	L	120	200
計量装置			コンベヤスケール(連続式土砂量計量測器)	
クレーン性能*2 最縮/最伸		t×m	2.6× 1.6/1.2× 3.0	

<注> ●単位は、国際単位系(SI)による表示です。
( )内は、従来の単位表示を参考値として併記しました。
●輸送時は固化材ホッパを縮め、振動スクリーンのあおりを倒し、固化材ホッパ部の手すりを外します。
*1は、土の性状や作業条件により異なります。
*2は、最大つり上げ能力時の数値です。

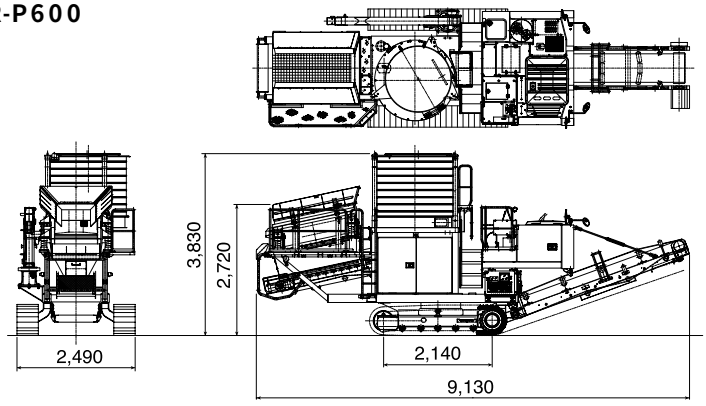
■クレーン作業範囲



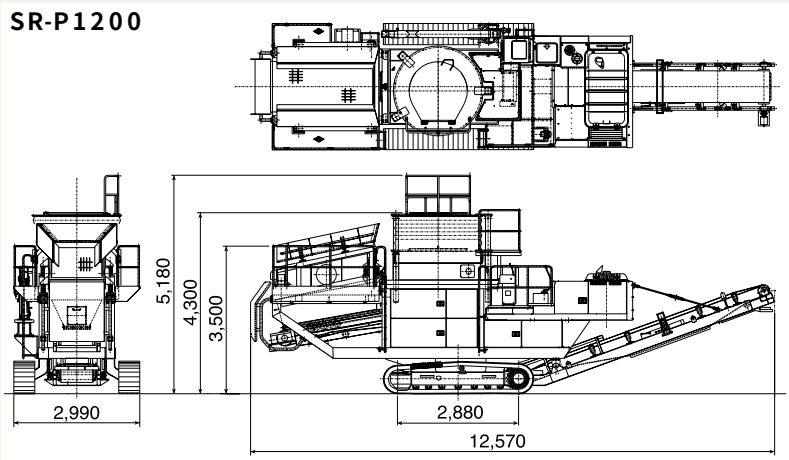
■寸法図

単位：mm

SR-P600



SR-P1200



■オプション

●清掃用エアコンプレッサ　●データ出力装置　●集塵機
●振動スクリーン用網(60mm×120mm以外の網)　●トラックガード
●データ出力機能：日報・月報データを取得できます。(ICカードまたはプリンタ出力を選択できます)

作業量拡大型の自走式土質改良機
地盤改良、粘性土・高含水比土質に好適

SR-G2000
最大処理量*:135m^3/h
作業量拡大型の自走式土質改良機。
固化材コストを低減し、効率良く高品質な改良土を生産。
*処理量は、土の性状や作業条件により異なります。

日立建機株式会社
東京都文京区後楽2-5-1〒112-8563
国内事業本部　☎(03)3830-8040
URL : http://www.hitachi-kenki.co.jp

●カタログに記載した内容は、予告なく変更することがあります。
●掲載写真は、販売仕様と一部異なる場合があります。
●機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなど、安全に心掛けてください。
●機体重量3t以上の建設機械の運転には「車両系建設機械運転技能講習修了証」の取得が必要です。
●クレーン部を使用する場合は「小型移動式クレーン運転技能講習修了証」「玉掛け技能講習修了証」の取得が必要です。
●本機をトレーラなどで輸送する場合は、関係官庁(警察署、国道工事事務所など)の通行許可が必要です。また、輸送時の質量と寸法については、関係法規(道路交通法、道路運送車両法、道路法)に従い、事前にご確認ください。

資格取得のご相談は(株)日立建機教習センタの各教習所へ

教習センタ	TEL. 048-931-0121	神奈川	TEL. 042-730-6716
北海道	TEL. 0133-64-6388	愛知	TEL. 0564-43-6578
宮城	TEL. 022-364-6143	京都	TEL. 075-957-4944
埼玉	TEL. 048-931-0121	岡山	TEL. 086-464-5411
茨城	TEL. 029-828-2370	福岡	TEL. 092-963-3634

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています。

安全に関するご注意　正しい操作と、周囲への思いやりは、安全作業の第一歩です。
ご使用の前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、正しくお使いください。

●お問い合わせは…

KO-071P　03.05 (SA / HP,GT3)